

婦人会だより

NO203

内部地区婦人会

JA みえきた女性部

令和6年 9月



内部川清掃



参加賞を受け取り、清掃開始

小雨の中、各種団体集合

内部川清掃に参加して

貝家町 加藤悦子

7月14日に内部川清掃が行われました。

当初は、7月7日の予定でしたが、酷暑の予報が出ていた為に一週間延期になりました。雨天で延期のことはあっても、酷暑のために延期になったことがかつてあったでしょうか。

さて、今回は40回目の内部川清掃になるそうです。清掃の目的、まずは川をきれいにする。もう一つは特定外来植物のアレチウリを駆除することです。

早朝に、ぱらついていた雨も上がり、無事に作業を終えることができました。

夏休みこどもクッキングに参加して

北小松町 堀 須美子

夏休み恒例の「子供クッキング」が、7月25日（木）26日（金）の2日間行われました。

指導者は、内部地区婦人会とJA みえきたです。

小学校3年から6年の子供たち30名ほどが参加しました。

今年のメニューは、「冷やし手打ちラーメン」です。

こねたり、たたいたり、つねったりと頑張ったおかげでモチモチしたのど越しの良い麺が出来ました。皆、手際もよかったです。

「おいしい、おいしい」の声に、指導した私たちもうれしく思いました。

来年はどんなメニューかな？



今年の社会福祉協議会からいただいた敬老の日の記念品は「ハンドタオルと扇子」でした。毎日暑い日が続く、熱中症予防が叫ばれていることを考慮し選んでいただいた贈り物であることを皆さんも気づかれたことでしょう。

汗をぬぐうためのハンドタオルは何枚あっても嬉しいものです。また、お寺参りや研修会、会議など、人の集まる場所に行ったとき、自分に涼しさを感じさせるために扇子があると救われた気持ちになります。思いのこもった記念品であったと嬉しく思いました。

いつも持ち歩いているカバンに早速忍ばせました。ありがとうございました。



シニアのセカンドライフを豊かにする名言を紹介します



- ・十六歳で美しいのは自慢にはならない。でも六十歳で美しければ、
それは魂の美しさだ
- ・平穏にして温和な老年は、静かに、清く、優雅に送られた生涯の賜物である
- ・信頼は老人の胸では成長のゆっくりした植物である。これに比べ青春（若さ）は
思い込みの季節である
 - ・人は年と共に澄んでゆくものである
 - ・力は若者の栄光。白髪は老人の尊厳
- ・死の恐怖を味わうということは、まだしなければなら
ない仕事をしていないということである
- ・夕映えが美しいように、老人の場所から見た世界は美しいのです
- ・年を取るとおしゃべりになるのは、たくさんの事を見てきたからであり、また、
やがて永遠にはなす事がなくなってしまうからである
- ・若者を非難するのは、年寄りの健康に欠かせぬ要素であり、血行を良くするの
とても役立つ
- ・死者に対する最高の手向けは、悲しみではなく感謝だ
- ・老年の最大の報酬は精神の自由だ
- ・身体の老いは怖れないが、心の老いが怖い

